



平成29年度 施政に関する基本方針 「賑わいと歴史ある迎都 泉佐野」 ～ひとを育み ひとにやさしく～

千代松市長は3月3日の定例市議会で、平成29年度の施政に関する基本方針を表明しました。

問合先 政策推進課

人口減少が進むなか、昨年6月に政府は人口1億人を維持し、誰もが生きがいを持って充実した生活をおくることができ、「一億総活躍社会」の実現に向けた「ニッポン一億総活躍プラン」を閣議決定しました。このプランは、我が国の経済成長の隘路（あいろ）の根本にある少子高齢化の問題に真正面から取り組むもので、広い意味での経済政策として、新たな三本の矢を放ち、子育て支援や社会保障の基盤を強化し、経済を強くするということです。本市としましては、人口減少と少子高齢化は、避けることのできない喫緊の課題であります。そして、「一億総活躍社会」を実現するためのメインエンジンは「地方創生」であるという認識のもと、策定しました「泉佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、「地方創生」の流れが

さらに加速するよう、人口減少の克服と地域が活性化する、まちが元気になる施策を着実に実践していく所存であります。一方、大阪府におきましては、大阪・関西の経済発展のため、健康・長寿をテーマとした「2025年国際博覧会」誘致をめざす取組が本格化しており、自らの有するポテンシャルにさらに磨きをかけていくことで、「首都・東京」とともに、東西二極の一極として、我が国の成長をけん引し、誰もが安全・安心に暮らせるまちづくりをめざしていくとしています。

本市におきましては、財政状況としまして、平成25年度決算での財政健全化団体からの脱却後、黒字決算を堅持し、平成27年度末における地方債残高は、総合文化センターへのセールアンドリースバック方式の導入により着実に縮減したものの、今後も高水準の公債費負担が継続することは、財政健全化団体の時と全く変わりはありません。また、今後、地方交付税制度の改正や社会保障費の増加など不確定な要素も多いことから、義務的経費の割合が相対的に高まる見込みであり、結果として財政の硬直化をさらに招くことが予想されます。

こうしたことから、平成29年度当初予算編成におきましては、「中期財政計画」に基づき、引き続き黒字決算を維持していくため、歳出面では限りある財源を最大限に効率的かつ効果的に活用するための事業の選択と集中を進め、歳入面ではふるさと応援寄附金をはじめとした税外収入に加え、新たな財源の創出に取り組んでまいります。また、「地方創生」につきましましては、国からの交付金をはじめ、基金の活用など、その財源の確保に努めてまいります。

今後とも市民サービスの低下を招くことなく、市民ニーズを反映した行政施策などに対応できるよう、市民のみなさまのご理解、ご協力を賜りながら、一生懸命取り組んでまいります。

施政方針は抜粋したものです。全文はホームページ (http://www.city.izumisano.lg.jp/kakuka/koushitsu/seisaku/menu/sisei_hosin/) をご覧いただけます。



平成29年度 今年度の主な取組

市民と協働し、すべてのひとが輝くまちづくり

【人権】

- 「泉佐野市民の人権に関する意識調査」結果を踏まえた人権行政施策を推進します。
- 総合生活相談は、相談者に寄り添った対応に努め、その機能の充実を図ります。
- 市民交流センターは、耐震改修および空調整備工事を実施します。また、北部市民交流センターは公民館機能を、南部市民交流センターは青少年・国際関係の機能を持つ複合施設に向けて改修を進めます。

【男女共同参画】

- 「泉佐野市男女共同参画まちづくり条例」を制定し、総合的に取り組みます。
- ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメントなどの相談対応やその防止・啓発に努めます。
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）や女性の就労継続が整えられるよう取り組みます。



【平和】

- 「非核平和都市宣言」のもと、人権・平和意識の高い社会環境の形成に努めます。

【国際化】

- 「国際都市宣言」を行い、市民レベルでの国際交流活動の一層の展開を図ります。
- 中国上海市徐匯区やモンゴル国トゥブ県とは、友好代表団の相互訪問などを通じて交流を深めます。また、上海市宝山区やその他海外都市とも友好都市提携をめざします。

- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」のホストタウンに、ウガンダ共和国に続き、モンゴル国も登録されるよう準備を進めます。



【情報・通信】

- わかりやすい情報を「広報いずみさの」やホームページなどを通じて積極的に発信します。また、駅前での早朝広報活動を引き続き実施します。
- 平成30年に市制施行70周年を迎えることから、「市制施行70周年記念誌」を発行します。
- 撮影用小型無線航空機（ドローン）を購入し、本市の情報発信に向けて積極的に活用します。
- 市民活動等の情報発信や防災情報の提供手段として、コミュニティFM放送などの可能性を調査するため事前実地調査を行います。

【参画と協働】

- 町会連合会による町会・自治会活動促進袋の配付事業の支援や町会・自治会と連携して町会未加入世帯への加入勧奨を推進します。
- タウンミーティングや市政モニターにより、市民の意見を市政に反映します。
- 市民通報システム「まちレポ泉佐野おせちョ〜」の運用により、市民と行政との迅速・正確な情報伝達に努めます。

やさしさとふれあいのあるまちづくり

【地域福祉】

- 「第2次泉佐野市地域福祉計画・地域福祉活動計画」に基づく「パートナーシップによる福祉のまちづくり」を推進します。
- 住民の主体的参画による地域福祉の充実に取り組みます。

【高齢者福祉】

- シルバー人材センター支援事業などにより、高齢者の生きがいづくりや雇用の拡大、健康づくりに努めます。
- 高齢者相互の交流を促進する「高齢者入浴利用料助成事業」を実施します。

【児童福祉】

- 「子育てのまち-いずみさの-」の実現に向けて、子育て支援施策の充実を図ります。
- 複雑化・深刻化する家庭児童相談に対応するため、保健師を配置し、妊娠期からの切れ目のない子育て支援を推進します。
- 子育て世帯の課題やニーズを把握し、支援を必要とする家庭を確実に支援する仕組みを構築します。
- 障害児支援は、「障害児福祉計画」の策定が法的に規定されたことから、策定に向け着手します。
- 留守家庭児童会は、学習支援などの充実に加え、長期休暇での対象児童を拡充します。



るまち 泉佐野」の実現に向けて、取り組みます。

- 当事者のニーズを把握するための調査を行い、障害者計画の中間見直しおよび新たな障害福祉計画の策定に向けて取り組みます。

【健康・医療】

- 「健康都市宣言」を踏まえ、市民一人ひとりの健康を支えていく施策を、市全体で取り組みます。
- 妊産婦健診の府内最高水準の公費負担を維持し、不妊症・不育症治療の支援を継続します。
- アプリ等を活用した子育て情報を継続して発信し、妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援に努めます。
- 各種がん検診事業は、セット検診の充実に加え、インターネット予約を採り入れるなど、検診機会の拡大を図ります。
- りんくう総合医療センターに安定的な医師確保と病院機能および救急医療体制の再構築を図るよう働きかけます。

【社会保険等】

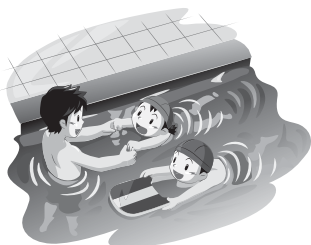
- 「介護予防・日常生活支援総合事業」を実施し、高齢者が要介護状態になることなく、元気で生活をおくることのできるよう取り組みます。
- カラオケを活用した「泉佐野元気塾」や健康体操などの介護予防教室などの介護予防事業に取り組みます。
- 国民健康保険事業は、保険料水準を維持し、医療費の適正化などに努めます。



歴史・文化を大切にし、ひとを豊かに育むまちづくり

【学校教育】

- 「泉佐野市道徳教育振興条例」に基づき、道徳教育の振興を図ります。
- 学力向上に向け、「夏休みの短縮」や「土曜授業」を引き続き実施します。また、小学校4年生までの35人以下の少人数学級を5・6年生にも導入します。
- 体力向上に向け、日本体育大学や大阪体育大学との連携により講師の派遣などの取組を支援するほか、「SANO リンピック」の開催や武道講師を配置します。
- 中学校課外クラブへの助成を拡充しながら、民間団体への委託を研究します。
- 未来を紡ぐ子どもの絆プロジェクト事業にて、子どもたちの体験学習を実施します。
- 不登校問題の解決に向け、「家庭の教育機能総合支援指導員」を拡充します。
- 就学援助では、経済的理由によって就学が困難と認められる児童生徒の支援の対象範囲を拡大します。
- 子どもの安全対策では、児童の登下校の実態を把握し、指導を行っている「スクールガードリーダー」の充実を図ります。
- 学校施設の整備は、築年数が約30年経過した新耐震基準の校舎の整備を優先的に進めます。また、新池中学校敷地内へのプール設置工事および佐野台小学校のプール整備に着手することにより、児童生徒の体力の向上を図るとともに、災害時における飲料水を確保する避難所として活用します。
- 学校給食は、魅力のある美味しい給食を提供すること



で、喫食を促進し、食品ロス削減に努めます。また、児童生徒からの応募献立を活用し、親しみある学校給食をめざします。

【生涯学習・スポーツ】

- 生涯学習センターおよび公民館、図書館は、指定管理者と連携し、市民サービスの向上に努めます。
- 第三中学校区公民館は、平成30年度に北部市民交流センター内での開設に向けて、日根野中学校区公民館は、平成31年度の新規開設をめざします。
- 平成30年3月に合唱の祭典「全日本少年少女合唱祭全国大会」を開催します。
- 「2020年東京オリンピック・パラリンピック」に向け、本市出身のトップアスリートを応援し、スポーツへの関心を高め、トップアスリートの育成につながるよう取り組みます。
- 市民総合体育館・健康増進センターは、末広公園全体を考えたより効率的かつ効果的な活用が図れるような管理運営を行います。
- 稲倉青少年野外活動センターは、指定管理者と連携し、さらなる利用促進に取り組みます。また、稲倉池広場も有効活用できるよう検討します。

【歴史・文化】

- 国史跡「日根荘遺跡」の「保存活用計画」を策定し、史跡整備の本格的な着手に向けた取組を進めます。また、「日根荘大木の農村景観」では、大木地区が持つ景観ブランド力の向上に努めます。
- 国の重要文化財「奥家住宅」は、美装化工事を進めることで、健全で美しい状態へと回復させます。
- 文化会館は、指定管理者と連携し、自主事業の充実および市民満足度の向上に努めます。

安全で、ひとと地球にやさしいまちづくり

【消防・防災】

- 地域の避難所に、災害時に必要な物資を備蓄する倉庫や移動系防災行政無線機の整備を進めます。
- 防災リーダーを育成するため、防災士資格習得支援を行います。
- 消防団の安全確保のため、装備の充実を図り、施設の整備に向けても取り組みます。



- 11月の第一日曜日を「市民防災の日」と定め、全市民を対象とした「大防災訓練」を実施します。

【地域安全】

- 市内8駅周辺に設置した防犯カメラの活用と新たに町会・自治会による防犯カメラ設置の支援を行います。
- 青色防犯パトロール事業の拡充により、安全な市民生活の確保に努めます。
- 高齢者自転車講習会参加者に自転車ヘルメットやマフラータオルを配付し、交通事故撲滅に向けて取り組みます。
- 「大阪府自転車条例」により、自転車保険の加入促進に取り組みます。

【環境衛生・環境保全】

- 「檀波羅公園墓地維持管理基本計画」に基づき、補修整備に着手し、合葬式墓地整備についても検討します。
- 高齢者雇用の観点も兼ねた「まち美化清掃活動」を継続します。
- 公共施設のスペースを利用した太陽光発電を推進し、温室効果ガス排出の削減に努めます。
- 「(仮称)一般財団法人泉佐野ガス」を設立し、公共施設に都市ガスの販売を進めます。

【廃棄物処理】

- 「一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」に基づき、廃棄物のさらなる削減と資源循環の推進に努めます。
- 平成42年度供用開始予定の次期ごみ処理施設建設に向けて取り組みます。また、し尿処理施設については、広域連携を図りながら、長寿命化改修に取り組みます。

【消費生活】

- 振り込め詐欺やインターネットショッピングに関する消費者被害が多発しており、相談対応を強化します。
- 消費者教育推進大使に委嘱された「イヌナキン」を活用した消費者教育の推進を図ります。



平成29年度 今年度の主な取組

活力をうみ、賑わいのあるまちづくり

【産業】

- 全国各地の自治体と「特産品相互取扱協定」を締結し、泉佐野産の農産物などを全国に向けて情報発信します。
- 地場の食材を使った商品のPR展開や泉佐野産（もん）のブランド化を推進します。
- 「準農家制度」を採り入れ、新規就農者の参入に努めます。
- ため池ハザードマップの作成やため池防災事業を推進します。
- 森林を計画的に維持・管理していくための「森林経営計画」の策定を進めます。
- 平成30年度の「全国漁港漁場大会」の開催に向けた準備を進めます。
- フィッシャマンズ・ワールド未利用地に、暫定的に多目的広場を整備し、にぎわいの創生に努めます。
- ビジネスマッチングなどによる人材育成に取り組み、女性を支援するチャレンジショップを展開します。
- 地域経済の活性化を図るため、「地域通貨システム」を構築します。
- 泉州タオルの生産量日本一の奪還をめざします。



【観光】

- 観光交流プラザ「りんくうまち処」および観光情報プラザ「関空まち処」、新たに設置した「泉佐野まち処」を拠点として、訪日外国人旅行者の満足度向上およびインバウンド観光の推進に取り組みます。
- 官民協働して本市の観光をマネジメントするDMOの認定に向けた組織を設立し、国際会議などのMICE（マイス）誘致やシェアリングエコノミーサービスを活用した観光客向け体験ツアーなどの開発に取り組みます。
- 「おもてなし条例」を活用した宿泊施設の誘致に取り組みむとともに、多言語案内板などの整備を推進します。
- 郷土の伝承芸能の1つである「佐野くどき」を踊った人数で世界一をめざすなど、地域のにぎわい創出に向け、取り組みます。
- りんくうタウン緑地公園内に国際規格のアイススケート場を官民連携で整備し、にぎわいのあるまちづくりを推進します。

【雇用・労働】

- 就職困難者等に対して、多様化するニーズにあった就労支援に取り組みます。
- 就労支援フェアを通じて、市民の雇用機会を提供し、就職率の向上を図ります。

心地よく、くつろぎを感じるまちづくり

【道路・交通】

- 都市計画道路泉佐野土丸線は用地測量を、都市計画道路熊取駅西線、熊取駅西1号線および南海本線泉佐野8号踏切の拡幅については調査・設計を行います。
- 関西国際空港と京奈和自動車道を結ぶ「京奈和関空連絡道路」の早期実現に向け、取り組みます。
- コミュニティバスは、無料運行を継続し、路線拡充に向けた検討を進めます。

【公園・緑地】

- 公園遊具の修繕などを行い、公園施設の適正な維持管理に努めます。
- 「(仮称) 泉佐野南部公園」は防災公園として、今年度内の完成を目標に整備を進めます。また、泉佐野丘陵緑地と結ぶ櫻井川沿いの道路に、散策道や親水公園などの計画を策定します。
- 末広公園の管理運営として、公園内施設と一体管理を目的に指定管理者制度の導入を図ります。



【上下水道】

- 老朽化した配水管を計画的に更新するなど、災害に強い水道施設の構築をめざします。
- 水道事業管理者を設置し、経営および体制の強化を図ります。
- 定住促進の一環として、転入単身世帯に対する水道料金などの減免制度を拡充します。
- 暮らしに必要な不可欠な下水道を着実に推進します。

【住宅】

- 「鶴原団地住宅建替第二期事業」に着工し、平成30年度内の完成をめざします。
- 耐震性が低く浴室のない市営住宅に、PFI手法による建替事業の準備を進めます。
- 定住促進の一環として、「住宅総合助成事業」や「空き家バンク制度」、「住宅リフォーム助成制度」を実施します。
- 耐震化では、耐震診断、耐震設計、耐震改修に対する助成や同時施工するリフォーム工事、耐震性のない木造住宅の除却工事に助成します。
- 本市への移住希望者に対し、一部の空室を活用し、一定期間、家賃無料で提供することにより移住を促進する「おためし移住支援制度」を創設します。

【市街地整備】

- 社会状況の変化などを踏まえ、市域全体の公園配置や風致地区などを含めた都市計画全体の見直しを行います。
- 熊取駅西地区は、良好な市街地の形成を大阪府や熊取町と連携しながら進めます。
- 泉佐野東駅前交通広場の立体利用により、駅周辺の活性化を誘導します。
- 南海本線鶴原駅のバリアフリー化に着手します。

【景観】

- 景観行政団体として、景観の形成に努めます。
- 「日根荘大木の農村景観」を通じて、地域の活性化につながる取組を検討します。

その他の取組

- 関西国際空港と共存共栄のもと、海外からのインバウンド効果を活かし、日本の玄関にふさわしいまちづくりを進めます。
- りんくうタウンでは、今後も国際医療交流の拠点づくりを推進します。また、大阪府から購入した「りんくうパピリオ」の活用にも着実に取り組みます。
- 結婚をしたくても出会う機会がない、結婚に踏み出せない若い世代のため「出会いの機会創出事業」を本格的に実施します。
- 「(仮称) 市民大運動会」開催の準備を進めます。
- 「第5次泉佐野市総合計画」策定に向け、今年度から段階的に取り組みます。

平成29年度当初予算 総額 844億4,118万円



実質的には、対前年度比23億9千1百万円（5.4%）の増

地方創生の流れを加速し、地域が活性化する「いずみさの元気予算」

一般会計予算の特徴

問合先 行財政管理課

また、財政健全化については、中期財政計画に基づき、引き続き行財政改革に取り組み、人件費抑制の継続、地方債残高の減少、ふるさと応援寄附金の拡充などにより、財政基盤の安定化を図ることとしました。

主な事業として、「子育て支援」では、留守家庭児童会の長期休暇中の対象児童を小学校6年生まで拡充、「教育環境の充実」では、佐野中学校・新池中学校・日根野中学校・佐野台小学校のプール整備や小学校4年生までの35人学級を小学校6年生まで拡充、「防災対策」では、移動系防災行政無線の整備、「まちの活性化・賑わいの創出」では、熊取駅西地区の整備や移住希望者へ空き家等を一定期間、無料提供するおためし移住などをはじめとする施策を中心に重点的に配分しました。

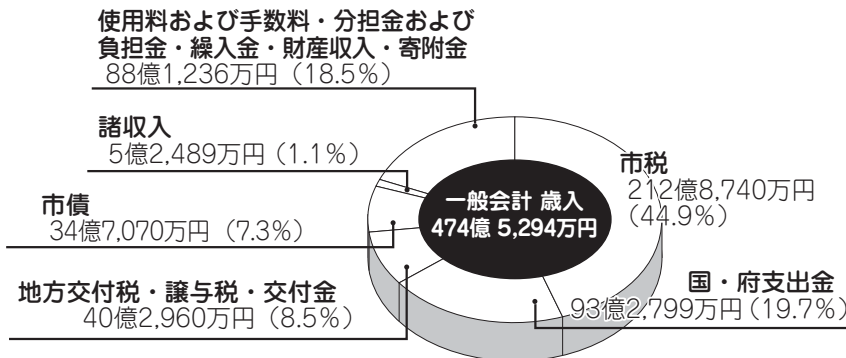
平成29年度の当初予算は、行財政改革の取組の継続によって生み出される財源を活用して、「地方創生の流れをさらに加速し、地域が活性化する「いずみさの元気予算」としました。

会計名	平成29年度(万円)	平成28年度(万円)	比較増減(万円)	比率(%)
一般会計	474億5,294	544億5,560	△70億 266	87.1
繰上償還および借換債除く(*1・2)	463億5,164	439億6,078	23億9,086	105.4
国民健康保険事業特別会計	136億9,472	138億5,274	△1億5,802	98.9
下水道事業特別会計	69億9,572	71億6,390	△1億6,818	97.7
前年度繰上充用金および借換債除く(*2・3)	50億8,192	49億5,390	1億2,802	102.6
公共用地先行取得事業特別会計	3億9,523	3億5,100	4,423	112.6
介護保険事業特別会計	81億 636	84億9,977	△3億9,341	95.4
後期高齢者医療事業特別会計	10億9,175	11億3,588	△4,413	96.1
病院事業債管理特別会計	22億5,167	20億3,064	2億2,103	110.9
水道事業会計	44億5,279	45億3,550	△8,271	98.2
合計	844億4,118	920億2,503	△75億8,385	91.8

(*1) 繰上償還…利子負担軽減のために償還を繰り上げて行うもの

(*2) 借換債…満期時に一部を借り換えするもの (*3) 前年度繰上充用金…前年度の赤字見込額

※これらを除いたものが実質的な予算規模になります。



一般会計歳入・歳出の内訳

